

平成 28 年 9 月
第 4 回清水町議会定例会一般質問事項

質 問 者	質 問 事 項	
議 席 氏 名		
7 原 紀 夫	<p>1 台風 10 号災害の今後の対策について</p> <p>本町が大災害を受けて緊急対策を講じている真っ只中の 9 月 4 日、NHK が「加速する異常気象」を取り扱ったスペシャル番組を放映した。</p> <p>番組内では 8 月末の本町に甚大な被害をもたらした台風 10 号も地球温暖化と関連性があると指摘。放映後には私たちの日常生活に既にさまざまな形で影響を与えている地球温暖化を、テレビ画面を通して目の当たりにした視聴者から恐怖に近い声がインターネット上で多く上がっていたという。私も以前から温暖化を懸念しており、視聴したが想像を絶するものがあった。</p> <p>本町は、地域防災計画の資料によると、大正 3 年から平成 25 年までに、水害 2 件、台風豪雨 1 件、台風被害は 7 件に及び、昭和 56 年 8 月の 2 度にわたる台風被害では 33 億円近い被害を受け、昭和 62 年 9 月に台風被害による死者 1 名、重傷者 6 名、軽傷者 9 名を出して以降 27 年間は台風被害が無く、災害の起こりにくい町と言われていたが、まさか家屋までが流出するような水害に見舞われるとは驚くほかない。地震を含めて国内では南から北海道まで連続して災害が起きており、災害はどこでも起こるものだという現実を見せられた。</p> <p>平穏な生活が続く中での突然の想定外の大災害であり残念極まりなく、一日も早い復旧を、国を挙げて進めるよう願うものである。</p> <p>本災害を受けて災害対策本部を立ち上げ、地域防災計画にのっとり、本部長ほか全職員が一丸となって取り進めてきたと思うが、多くの反省点も見られ、早急に対策を立てる必要があると考える。12 日間ボランティアで給水活動を行い、見えてきた部分も含めて提起するので、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 氾濫河川上流には国有林の水源涵養保安林や風景林が介在するが、これらの森林が保水力を保てず大きく崩壊し、下流に大きな被害をもたらしたものとする。今後の気象推定では、年々降雨量が増大すると見ており、上流部分の修復改善なくして安全安心なまちづくりは不可能と考える。国、林野庁、</p>	

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
		<p>道への強力な要請が必要と考えるが、現段階でどのように考えるか伺う。</p> <p>(2) 町民への緊急時の周知は、防災無線の放送や広報車でやっているが、「全く聞き取れない、分かりづらい」との声が以前からある。近年の住宅では聞き取りが困難で、特に強風降雨時は機能していない。早期の改善が必要だがどのように考えるか。サイレンについても「以前の音に変えるべき」との声もあるがどうか。</p> <p>(3) 職員の地域担当制度について、複数名配置し町内会との連携が日頃からできていればより効果的な活動ができたと思うがどうか。</p> <p>(4) 災害発生により水道が2週間の長期にわたり断水し、給水車による給水対応となったが、生活用水に困る世帯が数多く見られた。大半は車も無く、高齢で身体状況も悪く困窮している世帯である。断水解除数日前になって、急遽対策本部に申し出て対応がされ、ボランティア団体が戸別訪問した場面があったが、全町的に見ると相当数あったと思われる。今後これらの世帯を事前にしっかりと把握する必要があると思うがどのように考えるか。</p> <p>2 農業用水供給対策について</p> <p>農業用水の断水は本町産業の衰退に関わる重大問題に直結する最重要事案である。御影畑総地区農業用水が停止し、受益戸数210戸、1万2千頭の乳牛用水をホクレングループ二十数台によるタンク給水によりしのいでおり、冬季前までの通水を目指しているが、緊急緩和策として地下水ボーリング等により早急に取り組む考えはないか伺う。本町においても今回の災害において相当数の家庭が地下水を活用してしのいでいたことから考えを伺う。</p> <p>3 来年度予算編成について</p> <p>来年度予算編成は大災害を受けて、町単独での支援策も講じる必要がある、来年以降の営農を見据えて早期に復旧作業に取り掛かる必要がある、今後の予算は本年度の今後の補正を含めて、従前の編成を大きく変えての編成になると思うが現段階での考えを伺う。</p>

質 議 席	問 者 氏 名	質 問 事 項
6	木村好孝	<p>1 子どもの貧困の見える化を</p> <p>厚生労働省が7月21日発表の「国民生活基礎調査」の世帯所得分布状況集計によると、2012年度との比較で、中間世帯が減少し、貧困世帯の増加が挙げられている。また、生活状況では、生活が「かなり苦しい」と「やや苦しい」を合わせると60.3%、子どものいる世帯では65.9%となっており、貧困世帯、特に「子どもの貧困」と言われる状況が、子ども貧困対策法の施行と大綱の閣議決定後も厳しくなってきたことが明らかになっている。</p> <p>大綱には、子どもの貧困対策についての「検討の場」と、「計画の策定」を地方自治体においても取り組むとされているが、地域における困窮状況にある子どもの姿が見えづらいつつという中で、支援する必要性も見えづらくなり、支援そのものが不必要と判断される恐れがあるとの指摘もある。</p> <p>「子どもの貧困の見える化」を図る上で実態の把握が必要であり、取り組みについて質問する。</p> <p>(1) これまでの既存の統計資料や子育て支援施策に関する検討から見えてくるものも多くあると考えるがどうか。</p> <p>(2) 小中学校・保育所・学童保育などでの諸検査や観察記録など、日常生活上での実態の把握は可能と考えるがどうか。</p> <p>2 就学援助制度の改善・充実から</p> <p>「大綱」に基づき、「平成27年度要保護児童生徒援助費補助金の事務処理について」の通知は「留意事項」として、支給について「援助を必要とする時期に速やかに支給」（特に「新入学児童生徒学習用品」等）とし、財源については「所要の事業費が地方財政計画に計上され、地方交付税を算定する際の基準財政需要額に算入されている」としている。</p> <p>もともと、義務教育無償の「第一歩」として始まった制度の原点を押さえ、子どもの貧困の実態と課題把握で明らかになった課題解決に向けた施策のはじまりとしての制度改善・充実に関わって次の点を質問する。</p> <p>(1) 通知の「留意事項」の事業財源について、予算確保に対して適切な算定となっているのかを伺う。</p>

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
		<p>(2) 制度内容（認定要件、周知・申請方法、給付内容など）の改善・充実についてどのような考えかを伺う。</p> <p>(3) 就学援助制度を義務教育無償と一体的に考えていく上で準要保護への国庫補助の復活、就学援助認定状況に合わせた国庫補助予算額、地方交付税の積算単価の引き上げなど、子どもの貧困の実態に合う国の施策が必要であり、町としても制度の「条例化」の検討が必要となってきたが考えを伺う。</p>

質 議 席	問 者 氏 名	質 問 事 項
3	北村光明	<p>1 「まちづくり基本条例」と「協働」について</p> <p>「清水町まちづくり基本条例」に基づき、非常時における「協働」とはどうあるべきかを問う。</p> <p>(1) 行政、町民組織、議会の連携協力関係は機能していたか。 (2) 町内会などで自主防災の組織化を促進すべきと考えるがいか がが。 (3) 災害弱者への対応及び情報共有をどのように行うか。(民生 委員、町内会など)</p> <p>2 災害対策本部とボランティア活動について</p> <p>(1) 対策本部、町内会連絡協議会、社会福祉協議会等の連携がも っと必要であったと考えるがいかがか。 (2) 災害ボランティア組織との連携はどうであったか。 (3) 避難所運営などの活動に当たる町民ボランティアは不要か。 (4) 今後の復旧、復興にあたってのボランティア活動はどうある べきか。特に農業被害との関係においてはいかがか。</p> <p>3 防災情報の周知と共有について</p> <p>(1) 避難準備情報、避難勧告、避難指示の意味の確認徹底も含め、 避難誘導や情報周知の課題は何か。 (2) 町民からの要望意見、提言はどう生かされたか。 (3) 豪雨時などは、防災無線の音が聞き取りにくい。防災行政ラ ジオとして、防災情報配信システム（280MHz）発信を利用で きないか。</p> <p>4 上水道の断水時の対応について</p> <p>(1) 給水所の設置場所に課題はなかったか。 (2) 給水所におけるボランティア活動はどうであったか。 (3) 給水支援・飲料水支援の在り方でボランティアとの連携はど うであったか。</p>

質	問	者
議	席	氏
		質 問 事 項
		<p>5 激甚災害指定と今後の見通し</p> <p>(1) 罹災者証明と被災者証明の該当件数は。</p> <p>(2) 被害状況の調査（道路・橋梁・住宅・農地）を受け、予算措置の状況は。</p> <p>(3) 補助金の負担率はどうか。</p> <p>(4) 被災者生活再建支援制度の活用と来年度の営農支援はどうか。</p> <p>(5) 清掃後の泥や流木等、災害ごみの処理方法についてアナウンスはされたか。</p>

質 議	問 席	者 名	質 問 事 項
5	佐藤幸一	<p data-bbox="555 255 1145 297">1 台風10号における対応について</p> <p data-bbox="571 353 1418 443">(1) 自衛隊への災害派遣要請で、仮設浴場設置要請はどうしたのか伺う。</p> <p data-bbox="571 454 1418 544">(2) 旧消防庁舎に設置されていた防災無線屋外拡声器の代替策を伺う。</p> <p data-bbox="555 600 1249 642">2 コミュニティ・スクールの導入について</p> <p data-bbox="555 698 1418 833">文部科学省は、すべての学校がコミュニティ・スクール化へ取り組み、地域とともにある学校づくりをめざすと示されたが、認識と導入の考えを伺う。</p>	

